九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[031] 語文研究表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/10238

出版情報：語文研究. 31/32, 1971-10-31. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

◇学会彙報

▼講義題目　昭和46年度第一学期

（大学院）国語学特研　近世語学書の研究　春日　教授
（大学院学部）〃　演習　万葉集巻六　春日　教授
（全）〃　特講　敬語の史的研究　春日　教授
（学部）〃　講義　仮名遣および仮名遣史　春日　教授
（大学院）〃　演習　国語学の諸問題　奥村助教授
（大学院学部）〃　演習　近世語　奥村助教授
（学部）〃　議義　文法論　奥村助教授
（大学院）国文学特研　文学史研究の諸問題　今井助教授
（全）〃　演習　加茂保憲女集　今井助教授
（大学院学部）〃　特講　平安朝末期の物語と日記文学　今井助教授
（学部）〃　演習　源氏物語　夕顔巻　今井助教授
（大学院学部）〃　特講　漱石作品研究　九大教養部重松　教授
（学部）〃　演習　西鶴諸國咄　熊本大学　長谷川教授
（大学院学部）〃　臨時講義　関西大学　中村　教授

▼九大国語国文学会総会並びに研究発表会

昭46年6月6日　於　九州大学

※研究発表

一、新撰萬葉集に於ける用字法の一側面　安田　博子
一、天稚彦物語の成立　南里みち子
一、貝原益軒の紀行文について　板坂　耀子
一、助詞のアクセント型式の変遷と複合　添田建治郎
一、新資料『一言俳談』をめぐって　井上　敏幸
一、解釈文法の立場より―「もぞ・もこそ」についての私見―　福田　益和
一、「おもかげ」考　徳満　澄雄
一、源氏物語と女子教訓書　今井　源衛

※総会承認事項

○新会長　春日和男教授。
○中村先生送別特輯号の件、約一冊七五〇円程度で十一月刊行予定。
○語文研究33号より維持会員の増加を検討する。
○語文研究会費未納者の処置。二年間未納の場合、雑誌発送を停止し、本人の意志を確かめた上で、処置する。

▼二十一回西日本国語国文学会

昭和46年9月25・26日　於山口大学

研究発表（本会会員関係のみ）

蜻蛉日記下巻の問題点について
―天延元年冬の記事を中心に―　古賀　典子
図書寮本類聚名義抄の字音注記　田尻　英三
平安初頭詩から古今集歌へ
―述懐の詩歌について―　後藤　昭雄
古辞書における部首排列の基準について
―新撰字鏡と類聚名義抄―　福田　益和
今昔物語集「目録」考
―その待遇表現について―　山口　康子
カ行イ音便の形態的定着　迫野　虔徳
「行人」について　山田　輝彦

▼会員消息

天河内敬氏（昭和六年卒業）は、去る六月十二日十二指腸潰瘍のため逝去されました。衷心より御冥福をお祈り申し上げます。

浜上誠子（旧姓中留）氏（昭和四十一年卒業）は、去る七月六日脳腫瘍のため逝去されました。衷心より御冥福をお祈り申し上げます。

子（女学雑誌一六六号）婚えらび（改造社版現代日本文学全集一〇）権妻の果（むら竹一〇巻、明治二二年一〇月八二ページ）氷川清話（吉本襄編『幕末維新史料叢書二』）大策士（明治文学全集一一）

〔補注〕

(1) 新聞語の用例を付記する。

今日に至りては数年の迷霧漸く晴れ、朝廷の有難いと云ふことに気の付いたらしい者を往々見掛ると、是七月十九日頃の景況なりと該地よりの報知。（『明治編年史』三巻二六二ノ四ノ三、明治十年八月一日、東京日日）

(2) 改稿『奇遇』（明二九）には、タラシイ（1）キルラシイ（2）の用例があって、その推移を反映している。

(3) トルストイ作不知庵主人訳『凄涙』（『国民之友』一九九―二一〇号、明治二六）では、言文一致体で、タラシク（7）、タラシカッタ（2）、キルラシク（1）の用例が見えて、同様の傾向を示している。

受贈雑誌　46年4月～46年9月　I

古典と近代文学（有精堂）9・10／愛知県立大学文学部論集21／女子大文学（大阪女子大学）22／県大国文（愛知県立大学）5／薩摩路（鹿児島大学）15／女子大国文（京都女子大学）60・61・62／人文科學科紀要（東京大学教養部）51／青山語文（青山学院大学）創刊号／學苑（昭和女子大学）374・375・376・377・378・379・380・381／国文学―解釈と教材の研究―（学燈社）16巻4～13号／一橋論叢第64巻6・65巻1～5号・66巻1号～3号／国語国文（京都大学）40巻2号～9号／文芸研究（明治大学）23～25／半獣神（大阪）2号／佐賀龍谷学会紀要（佐賀龍谷短大）17号／鶴見女子大学紀要8号／滋賀大国文8号／古典評論（東風の会）7／日米フォーラム（米国大使館）17巻2～4号／国文白百合（白百合女子大学）2号／研究年報（学習院大学）17輯／文学研究（九州大学）68輯／甲南国文（甲南女子大学）18号／国学院雑誌（国学院大学）765～770号／国語国文学（岐阜大学）7号／九州文化史研究所紀要（九州大学）16号／名古屋大学文学部研究論集文学18／国文鶴見（鶴見女子大学）6号／文芸研究（日本文芸研究会）66・67集／文学論藻（東洋大学）45／文芸と思想（福岡女子大学）34号／園田学園女子大学論文集5号／研究論集（北海道大学）1／有明工業高等専門学校紀要6／大妻国文2／親和国文4／人文（京都大学教養部）17／外国文学研究（同志社大学）1／専修国文（専修大学）9／近代文学論（東京教育大学）1・2／文化（東北大学）34巻4／待兼山論集（大阪大学）4／文学論輯（九州大学教養部）18／文献ジャーナル（富士期大）108～114／白路（白路社）26巻3～8

作品がそれなりにもち得た意義も明らかであろう。

註

(1) 当時、新潮社から刊行されていた『新進作家叢書』の「8」として「偸盗」が予定されていたが、芥川はこれを断り（大6・5・27付、中根駒十郎宛書簡）、同叢書としては『煙草と悪魔』（大6・11）を刊行した。

(2) 大6・5・7付、松岡譲宛。及び同6・5・27付、中根駒十郎宛書簡。

(3) 大6・7・27付、松岡譲宛書簡。

(4) 佐佐木茂索「『偸盗』に就て」（岩波文庫『偸盗』解説—昭3・11）。

(5) 塩田良平『芥川龍之介』（学燈社—昭29・3）。

(6) 吉田精一『芥川龍之介』（三省堂—昭17・12）。

(7) 長野甞一『古典と近代作家—芥川龍之介』（有明堂—昭42・4）。

(8) 大5・7・25付、恒藤恭宛書簡。

(9) 大5・8・1付、山本喜誉司宛書簡。

(10) 同(8)。

(11) 同(9)。

(12) 「編輯後に」（「新思潮」第四次創刊号—大5・2）

(13) 大5・2・19付、芥川龍之介宛書簡。

(14) 『鼻』（春陽堂—大7・7）所収作品。

(15) 『羅生門』（阿蘭陀書房—大6・5）所収作品。

(15) 葛巻義敏『芥川龍之介』（筑摩書房「日本文学アルバム」6—昭29・12）。

(17) 「校正後に」（「新思潮」第四次第七号—大5・9）の菊池寛の言葉。

(18) 大6・3・9付、江口渙宛書簡。

受贈雑誌　46年4月～46年9月　II

肇國（肇國神祇連盟）336～341／金沢文学国語国文4／演劇学（早稲田大学）12／萬葉（萬葉學会）75～77／龍谷大學論集394・396／大阪樟蔭女子大学論集8／樟蔭国文学8／甲南大学紀要 文学篇3・4／相模女子大学紀要34／金沢大学教育学部紀要19／箱崎を語る会（福岡市箱崎・筥松公民館）3／学習院女子短期大学紀要13／国語と国文学（東京大学）48巻3～9／帝塚山学院大学日本文学研究3／国語国文研究（北海道大学）46／成蹊國文4／中央大学國文14／文芸と批評3巻5・6／人文学報（東京都立大学）80／都大論究31／人文論究（関西学院大学）9／国文学研究（早稲田大学）43～45／語文（日本大学）29・34・35／国文学論考（都留文科大学）7／郷土資料（岐阜大学教育学部）(2)／紀要（名古屋大学教養部）15／藤女子大学国文学雑誌9・10／日本文学ノート（宮城学院女子大学）28／東海学園国語国文2／国文学攷（広島大学）55・56／中世文芸（広島大学）49／金沢大学教養部論集8／演劇博物館図書収蔵品目録（早稲田大学）16／人文研究（大阪市立大）22巻・2・5分冊／研究紀要（大阪大学医療技術短期大学部）3／学大国文（大阪教育大学）14／国語学（国語学会）84～86／国際大学国文学2／日本文芸研究（関西学院大学）22巻1～4、23巻1・2／同志社国文学5・6／高知大学学術研究所報19／岐阜大学研究報告19／文経論叢（弘前大学）6巻1／跡見学園国語科紀要19／近世初期文芸（近世初期文芸研究会）2／埴生野国文（四天王寺女子大学）1／武庫川国文3／連歌俳諧研究（俳文学会）39～41／軍記と語り物（軍記物談話会）8／文学科論集（鹿児島大学）6

(二) 潔が、勘次に自殺されて責任を感じ気持が顚倒している愛子を打ちすえて愛子をはげましていること。

(三) 愛子にも潔にも、どのような生い立ちであったかという点が省略されてしまっているために、人間的造型の重さが不足している。

8 「赤岩栄著作集」6の笠原芳光の「解説」に、「椎名批判のおおくが、いわゆるキリスト教の外部かわのものであるのに比して、椎名と内部世界を共通した者の批判であるだけに肯綮に当るものといえよう。」と言っている。

受贈雑誌　46年4月～46年9月　III

横浜国立大学人文紀要17／都立大学方言学会会報37・39・40／国学院大学日本文化研究所報18巻2・3／静岡女子大学國文研究4／山口女子短期大学研究報告25／文芸論叢（立正女子短大）7／国語国文学研究（熊本大学）6／能楽思潮56／学園論集（北海学園大学）18／国学院大学紀要9／甲南女子大学研究紀要7／学術研究（早稲田大学教育学部）19／中国古典研究（早稲田大学）17／文林（松蔭女子学院大学）5／説話（説話研究会）3／国文目白（日本女子大学）10／共同研究（大阪教育大学）1／国文学論叢（龍谷大学）16／研究紀要（日本大学）13／愛媛国文と教育（愛媛大学）3／アカデミア（南山大学）81／朝鮮学術通報8巻2・3／平安博物館研究紀要（古代学協会）2・3／海事史研究（日本海事史学会）16／成蹊大学文学部紀要6／国文学研究（梅光女学院短大）6／東京女子大日本文学36／学習院大学国語国文学会誌14／人文研究（神奈川大学）48／日本歌人クラブ40／駒沢国文8／広島大学文学部紀要特輯号3／広島大学文学部紀要30／法政大学文学部紀要16／短大論叢（関東学院女子短大）43／国文（お茶の水女子大学）35／名古屋大学国語国文学28／コロニア文学14／国語の研究（大分大学）5／日本女子大学紀要20／愛媛大学法文学部論集3／人文学研究所報（神奈川大学）5／島根大学文理学部紀要4／言語文化（一橋大学）7／研究紀要（静岡女子大学）4／野州国文学（国学院大学栃木短大）7／富山大学教育学部紀要19／語学文学（北海道教育大学）9／国立国語研究所報告39～41／成城国文学論集3／梅花女子大学文学部紀要7／国語研究（国学院大学）30